

連絡先 自動車局 審査・リコール課
 リコール監理室
 TEL 03-5253-8111 内線 42354
 アドレス : http://www.mlit.go.jp

リコール届出一覧表

リコール届出日:平成28年 1月26日

リコール届出番号	3743	リコール開始日	平成28年 1月27日
届出者の氏名又は名称	日野自動車株式会社 代表取締役社長 市橋 保彦		問い合わせ先:お客様相談窓口 TEL 0120-106558
不具合の部位(部品名)	1. 電気装置(スタータリレー) 2. 乗降口(扉)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	<p>1. 小型ノンステップバスのスタータリレーにおいて、接点の構造が不適切なため、始動時にスタータが噛み合わなかった場合に流れる電流により、当該接点が荒れるものがある。そのため、そのまま使用を続けると、当該接点が溶着し、最悪の場合、スタータが焼損するおそれがある。</p> <p>2. 小型ノンステップバスの扉において、</p> <p>①扉の位置を検知するスイッチの回路が不適切なため、当該スイッチがオンになった際、接点に定格値を超える電流が流れ、接点が荒れるものがある。そのため、そのまま使用を続けると、接点どうしが導通したままとなり、最悪の場合、扉が閉められなくなるおそれがある。</p> <p>②乗客の挟み込みを検知するスイッチの接点構造が不適切なため、スイッチの作動頻度が少ない場合、当該接点に生成したシリコン被膜により、導通不良になるものがある。そのため、スイッチが機能せず、最悪の場合、乗客が扉に挟まれるおそれがある。</p> <p>③扉開閉用エアシリンダの電磁弁とエア配管の容量が不適切なため、扉の開閉中に反転操作を行った場合、扉が通常より速く動くことがある。</p>		
改善措置の内容	<p>全車両、</p> <p>1. 当該スタータリレーを対策品に交換する。</p> <p>2. ①スイッチの回路に抵抗を追加するとともに、スイッチを新品に交換する。 ②当該スイッチを対策品に交換するとともに、当該スイッチの回路にリレーがないものはリレーを追加する。 ③電磁弁を対策品に交換するとともに、後扉用エアシリンダへのエア配管の容量が不足しているものは配管を追加する。</p>		
不具合件数	1. 4件 2. ①22件、②12件、③11件	事故の有無	1. 部分焼損2件、 2. ①、②、③ともなし
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者等に周知させるための措置	<p>・使用者:ダイレクトメールまたは直接訪問で通知する。</p> <p>・自動車分解整備事業者:日整連発行の機関誌に掲載する。</p> <p>・改善実施済車には、運転者席左側ドア開口部のシリアルナンバープレート付近にNo.3743のステッカーを貼付する。</p>		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
日野	ADG-HX6JHAE BDG-HX6JHAE	「日野ポッチョ」	HX6JHA-40011~HX6JHA-40188 平成18年 3月31日~平成23年 8月 7日	178	2①+②+③ : 178

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
日野	BDG-HX6JLAE BDG-HX6JLAE改	「日野ポンチョ」	HX6JLA-40011～HX6JLA-40767 平成18年 3月17日～平成23年 8月 3日	749	2①+②+③ : 749
	SDG-HX9JHBE SKG-HX9JHBE		HX9JHB-40011～HX9JHB-40067 平成23年 9月 4日～平成26年 1月16日	57	1+2①+② +③ : 34 1+2②+③ : 13 1+2③ : 2 2③ : 8
	SDG-HX9JLBE SDG-HX9JLBE改 SKG-HX9JLBE SKG-HX9JLBE改		HX9JLB-40011～HX9JLB-40538 平成23年 9月 4日～平成26年 2月20日	528	1+2①+② +③ : 343 1+2②+③ : 50 1+2③ : 46 2①+②+③ : 5 2③ : 84
	(計 10 型式)	(計 1 車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成18年 3月17日～平成26年 2月20日	(計 1,512 台)	1: 488 2①: 1,309 2②: 1,372 2③: 1,512

【注意事項】 リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。